

# 衣服で健康増進

## 弘大とアツギが研究講座



共同研究講座のプレートを掲げる工藤社長(左)と佐藤学長

弘前大学大学院医学研究科とストックキング・ソックス・インナーウェア製造販売の「アツギ」(本社・神奈川県海老名市、工藤洋志代表取締役社長)は11日、弘大で共同研究講座「健康と美 医科学講座」の設置開設式を行った。健康を意識できる衣料を身に着けることを通じ、健康増進に最適な手段を検討する。設置は1日付。

同社は、むつ市に国内最大級の生産工場を持ち、工藤社長は同市出身と本県とも縁の深い企業。

講座では、肥満に着目。弘大の「岩木健康増進プロジェクト健康」のビッグデータを活用、医学・生命科学と健康美を融合した研究を通じ、日常的に身に着ける「美しい装い」から、緊張らずに健康管理に導くことが狙い。

具体的には①体形のデータ化②補整下着の着用③健康教育④生活習慣の改善の四つのプロセスを研究す

ることで、健康増進に最適な手段を検討する。同社によると、むつ市との連携も模索しているという。

工藤社長は「われわれの得意とする衣料品で、健康にアプローチすることができないのではない。美しい装いから自主的な行動へと導くことができなにか検討

し、青森県の短命県返上や健康寿命の延伸に貢献していくことを目指す」と意欲を示した。

また、佐藤敬学長は「下北に工場を持ち、地元企業の一つと言える。協力・支援をいただく以上はしっかり

りと成果を出すことが弘前大学の役目」と述べた。企業が弘大に共同研究講座を開設するのは10例目。